

教育事務所	地 区	市町村数	パトロール対象カ所数	管内計	パトロール実施件数(年2回)
県 南	西 白 河	6	38	73	146
	東 白 川	6	35		
会 津	北 会 津	4	30	152	304
	両 沼	5	26		
	耶 麻 西 部	4	29		
	耶 麻 北 部	4	35		
南会津	耶 麻 東 部	4	32	42	84
	南会津西部	4	20		
相 双	南会津東部	3	22	88	176
	相 双 北 部	4	24		
	相 双 中 部	4	30		
い わ き	相 双 南 部	6	34	66	132
	い わ き 北 部	1	36		
	い わ き 南 部		30		
計		90	660	660	1,320

② 文化財保護指導者講習会

ア 趣 旨

文化財に関する知識の普及と愛護精神の高揚を図るため、文化財保護について指導的立場にある関係者に対し、文化財に関する専門的事項について講習を行い市町村における文化財保護行政の進展に資する。

イ 主 催

福島県教育委員会・福島市教育委員会

ウ 期日及び会場

昭和58年7月28日(木)～29日(金)

福島県文化センター

エ 講習内容及び講師

(ア) 講 義

⑦ 「縄文時代の用具と生活」

—実験考古学的立場から—

元宮城教育大学講師

実験考古学者 楠 本 政 助

⑧ 「文化財保護の課題と施策について」

福島県教育庁文化課長 大 塚 和 美

⑨ 「仏像調査の方法と実際」

東京国立博物館企画課長 佐藤昭夫

オ 分科会(研究協議事例発表)

(ア) 市町村における文化財指定の実態と問題点

事例発表

福島市教育委員会主事 柴 田 俊 彰

(イ) 埋蔵文化財分布調査の実際と問題点

事例発表

滝根町史編纂室 先 崎 忠 衛

カ 現 地 研 修

福島市民家園、陽泉寺、大蔵寺

(2) 文化財指定の推進

① 県指定文化財

県内に所在する重要な文化財について、県文化財保護審議会の答申に基づき、昭和59年3月23日付県教育委員会告示第1号～第3号をもって、県指定文化財に指定及

び指定解除した。

県指定重要文化財

	種 別	名 称	員 数	所 在 地	所 有 者
1	建 造 物	如法寺観音堂付仁王門	1 棟	耶麻郡西会津町野沢字如法寺乙3533番地	如法寺
2	"	涼ヶ岡八幡神社本殿及び拝殿・幣殿	1 棟	相馬市坪田字涼ヶ岡51番地	八幡神社
3	絵 画	板絵凌煙閣功臣画像付牡丹孔雀図・山水図・牡丹図	8 枚 12 面	岩瀬郡鏡石町大字鏡田字鏡沼97番地 岩瀬郡鏡石町大字笠石字旭町159番地	西光寺(4枚) 鏡石町(4枚)
4	彫 刻	木造阿弥陀如来立像	1 軀	田村郡三春町字亀井225番地	光岩寺
5	"	木造薬師如来坐像	1 軀	いわき市小名浜住吉字新町6番地	保福寺
6	"	木造阿弥陀如来立像	1 軀	いわき市四倉町玉山字牧ノ下53番地	恵日寺
7	工 芸 品	金銅装赤漆塗笈	1 背	いわき市渡辺町上釜戸字堤の内70番地	清谷寺
8	考古資料	大櫃遺跡出土品	4 口	伊達郡桑折町字陣屋12番地 旧伊達郡役所内	桑折町

県指定史跡

	名 称	所 在 地	所 有 者
1	塚野目第一号墳	伊達郡国見町大字塚野目字前畑19番の1ほか14筆	八幡神社 ・正法寺 ・大内安次・斎藤彦衛

県指定天然記念物指定解除

名 称	所 在 地	所 有 者
福原の笠松	郡山市富久山町福原字古館62	宮本薫ほか3名

② 文化財基礎調査

「昔話・伝説」調査

昔話や伝説などの口頭伝承は、伝承者の高齢化によって急速に失われつつあるので、緊急に調査を行う必要があるため、昭和58年度より3ヶ年計画で調査を行っている。

○第1年度 全県的に地区調査員を委嘱し、所在調査を実施

○主任調査員 県文化財保護審議会委員 岩崎 敏夫

③ 各地方言収集緊急調査

近年のマスコミュニケーションの発達によって、方言は全国的に変化し、失われつつある。

方言は、日本語の古い姿を残すとともに、地方の民俗や風土に密着して成立したものだけに、高い文化史的価値を有している。

このため、昭和56年度から3年継続で調査を実施した。

○調査内容 次の区分により収録し、文字化して共通語訳と注釈をつける。

1年次 老年層の話者による会話